

第4学年 松・竹組 国語科 『カンジーはかせの漢字しりとり』 略案 (2 / 2)

指導者 4年松組 伊藤 雅代
4年竹組 高橋 寿喜子

1. 日時 梅組 2月21日(木) 5校時(13:35~14:20)
竹組 22日(金) 5校時(13:35~14:20)

2. ねらい ○ 漢字しりとりを楽しみ、漢字を正しく読んだり書いたりする。

3. 本時の実際

時 間	学 習 活 動 と 児 童 の 動 き	教 師 の 支 援 及 び 評 価	セ ン タ ー の 先 生 の 支 援
2分	1. 本時の課題について確認する。 いろいろな漢字しりとり挑戦しよう。	○前時の漢字しりとりとは違う新しい漢字しりとりを、取り組むことを知らせる。	
20分	2. 例題をもとに、新しい漢字しりとりルールを理解する。 3. 「第1問」(教科書P58)に取り組む。(個人)	○同じ音をもつ漢字のしりとりになっていることを確認する。 ○漢字を適切に使用し、答えを導き出せるよう、国語辞典も活用していいことを伝える。 ○個に応じ、適切なヒントを与える。	○漢字しりとりを出題する。(教科書P58上段の例題) ○例題と同じきまりでできている問題を1問ずつ出題する。(教科書P58下段の問題4問) ○1問ずつ正答確認と解説をする。
18分	4. 「第2問」(教科書P59)に取り組む。(グループ)	○問題を解き終えたグループは、センターの先生から答え合わせをしてもらうよう声をかける。 ○早くできたグループ用の補充問題を準備しておく。	○書画カメラを使い、正答確認をする。必要に応じてヒントを与える。
5分	5. 本時の振り返りをする。	○大事だと思ったこと、漢字についての発見、今後の国語学習への思いなどについてふりかえるように促す。	○本時及び今後の国語学習に向けての感想や助言を話す。